

各 位

会 社 名 株式会社ネットプライスドットコム
代表者名 代表取締役社長 兼 グループ CEO 佐藤 輝英
(コード番号 3328 東証マザーズ)
問合せ先 代表取締役副社長 兼 グループ CFO 中村 浩二
電 話 03-5739-3350

特別損失（減損損失）計上と業績予想との差異に関するお知らせ

当社は、平成26年9月期 第1四半期決算において、Eコマース事業のリテール・ライセンス部門であるネットショッピング事業の固定資産にかかる減損損失を特別損失に計上することとなりました。また、平成25年11月14日に公表した業績予想と本日公表の実績値に差異が発生いたしましたので下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 固定資産の減損損失（連結）について

Eコマース事業のリテール・ライセンス部門であるネットショッピング事業において保有する以下の固定資産について、今後スマートフォンへの取り組みに集中する戦略であることに加え、直近の業績推移を勘案し、既存のシステムが中心となる固定資産の帳簿価額を回収可能額まで減額すべきであると判断し、減損損失として特別損失に計上いたしました。

- (1) 資産の内容 工具、器具及び備品、ソフトウェア、ソフトウェア仮勘定
(2) 減損金額 73百万円

2. 連結通期業績予想値との差異（平成25年10月1日～平成25年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	一株当り 四半期純利益
前回発表予想(A)	2,829～3,107	△140～19	△146～13	△55～99	△492.73 ～886.92
今回実績(B)	2,779	△157	△128	△18	△165.37
増減額(B-A)	△328～△50	△176～△17	△141～18	△117～37	-
増減率(%)	△10.5～△1.7	-	-	-	-
(ご参考)前期実績【平成25年9 月期 第1四半期連結通期】	2,748	39	23	△11	△106.66

3. 業績予想との差異の理由

当社グループは、今期の戦略テーマとして「グローアウト（脱皮）戦略」を掲げ、①バリューサイクル部門とクロスボーダー部門の各市場における圧倒的No.1の地位の確立、②リテール・ライセンス部門における、スマートフォンに特化したサービス構築とエンタメ事業の拡大による収益化の実現、③インキュベーション事業におけるスマートフォンにフ

フォーカスした新規事業開発と北米や新興国を中心とした投資育成活動（B E E N O S 活動）の本格化、を進めてまいりました。

当第1四半期の売上高と営業利益につきましては、Eコマース事業のバリューサイクル部門において、テレビコマースの実施やアライアンスの拡大ならびに自社キャンペーン施策が奏効し、四半期で過去最高の買取件数（前年同期比48.2%増）となり、一時的な売上減少も視野に入れ、経営資源を買取に集中させ、買取の増加に対応することを優先したため、売上高が2,779百万円、営業利益が△157百万円となりました。経常利益につきましては、Eコマース事業のクロスボーダー部門における為替差益の発生等により、△128百万円となりました。四半期純利益につきましては、関係会社株式売却益等による特別利益ならびに上記減損損失による特別損失の計上により△18百万円となりました。

以上

ご注意：本資料に記載されている業績予想は、本資料の日付時点において入手可能な情報による判断及び仮定を前提にしており、実際の業績は様々な要因によって異なる場合があります。